

(規則) 様式第7 (第7条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

1/2

2025 年 11月28 日

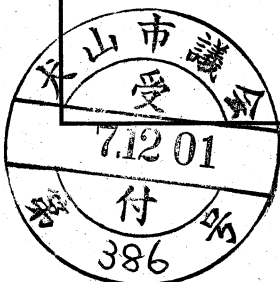
犬 山 市 議 会

議 長 大 沢 秀 教 様

議員名 岡 寛

下記のとおり、視 察 の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	2025年 11月 17 日 (A) ~ 2025年 11月 18 日 (A) (泊 2 日)
(2) 場 所	11/17 尾道市 (人口: 121,170人 面積 284.89km ²) 2025年9月1日
(3) 形 態	会派 (日本共産党 犬山市議団) その他 ()
(4) 内 容	テーマ: 子どもの貧困支援、子ども第三の居場所について。 平成28年度(2016年度)関係課職員で「尾道市子どもの貧困対策プロジェクトチーム」の活動で「尾道市子どもの生活実態調査」を実施。経済的困難を抱える家庭の子どもの生活や学習環境に課題があることを把握し、H29年7月A「b&g尾道」を設置。H31年2月A「b&g因島」、R5年2月A「子どもの学芸会 向島リーフ」も設置。 ※b&g (boys and girls) とは… 放課後児童クラブのような施設ですが、様々な活動で子どもの「生きる力」をはぐくむ場所。 市が社会福祉協議会に委託し、利用料無料(夕食一回100円)別途「まちかどフードパントリー尾道」も市内3ヶ所で開催。視察
(5) 成果・提言	(1) 格差と貧困が広がっていること、全国的にも不登校が急増していることを受けて、犬山市でも「子どもの実態調査を実施すること。その上で支援が必要な子どもへの「アウトリーチ」による支援に着手すること。その際、「ゆっくり」「わいわい」や「シェークハンズに委託している事業」には、適合しづらい子どもについては、よく検討の上、適切な「居場所づくりを進めること。 (2) 尾道の様な「フードパントリー」を実施すること。



(規則) 様式第7 (第7条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

2/2

2025年 12月 1日

犬 山 市 議 会

議 長 大 沢 秀 教 様

議員名 岡 寛

下記のとおり、視 察 の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	2025年 11月 17日(月) ~ 2025年 11月 18日(火) (泊 2日)
(2) 場 所	11/18 広島市 (人口は 1,175,435人、 ²⁵ %増、面積は 905km ²)
(3) 形 態	(会派) (日本共産党 犬山市議員) の他 ()
(4) 内 容	① 広島平和記念資料館 かなりの量の資料を収集・保存し、現在の技術も生かして展示。早朝より多くの人達が見学していた。英語が時々聞えるなど欧米の人達が多い。感あり。静かな中で展示物にじっくり入る様に見て、涙をこらえるのに苦労した。 ② 広島市本川小学校 平和資料館 地下室もある近代的な鉄筋コンクリート造りの校舎が爆心地のすぐ西にあった為、壊滅的被害を受ける。奇跡的に助かった2名の児童をのぞいて、教職員と児童は全て死亡。 当時の建物を生かし、地下室と一階部分で「平和資料館」としている。運営は市教育委員会。
(5) 成 果 ・ 提 言	a) 毎年11月下旬に②の児童がボランティアガイドとなって伝承のイベントを行っている。このイベントへの参加や施設見学なども取り入れ、かつて犬山市で行っていた「中学生の広島派遣」を形をかえて復活すべきと思う。 b) 被災など被害の歴史と共に日本は、侵略と言う加害の歴史も持っている。戦争というものをトータルで伝承していく知恵を発揮すべきである